

みんなでいくぞ！あそびのつながり基地

平成27年10月25日（日）

～徳地から ポン太が街に やってきた～

【ねらい】

子どもとその保護者が様々な遊びを体験することとおして、積極的な遊びに対する重要性を社会に普及させる。

【参加者】 752名（子ども512名、大人240名）

【プログラムの内容】

- 遊びリンピック(しぼりおしぼり、空き缶つみ、わりばしダーツ、傘バランス)
- 何でも遊び(ころがしドッジボール、スリッパ飛ばし、みんなおに、逃走中など)
- ものづくり(自然物を使った工作活動など)
- よさこい演武のマスター



様々な外遊びを体験！



ケーブルテレビの館内でモノづくり！



みんなでよさこい体験！



最後はスタッフで集合写真！

【主催】 国立山口徳地青少年自然の家、山口大学教育学部ちやぶ台研修部

【後援】 山口市教育委員会、防府市教育委員会

【協賛】 山口ケーブルビジョン株式会社

【協力】 山口県立大学よさこい部奄美連合萩組

【成果】 ・参加人数が大幅に増えた（平成26年度411名）。
・山口大学教育学部との連携のために、打ち合わせを綿密に行ったため、安全に運営することができた。

【課題】 ・保護者が子どもたちの遊び体験の重要性を理解するための働きかけをよりよくしていく。

【今後の展望】

次年度は参加人数増だけでなく、当日配る広報資料に力を入れ、幼児期の体験活動の重要性を広く普及させていく。また、本事業の取り組みを他の体験活動施設にも普及させ、子どもと親御さんが継続して体験できる場づくりに努める。